

臓器移植先進国ベルギー

# 意志登録 してますか？



『臓器移植』を受けるには、アメリカに行くしかないと思っていませんか？ 実は、ベルギーは知る人ぞ知る臓器移植の先進国。2011

年、人口100万人に対する臓器提供者が29.7人（\*注）となり、先進国の中でもアメリカ、スペイン、フランス、オーストリアなどとともにトップ水準にあります。

ベルギー滞在中に事故や病気で、心臓、肺、肝臓、腎臓、膵臓などの移植が必須となった場合には、ある程度待たされることはあっても、標準的な保険治療の一環として移植を受けることができるのです。こんな小さな国なのに、なぜそんなに提供者がいるのでしょうか。

ベルギーは、1967年以来、オランダ、ドイツ、オーストリアなどととも「ユーロ・トランスプラント」というネットワークを組んで、提供臓器と移植の緊密な連携体制を築いてきました。また、法的には「推定同意」という立場をとっており、これは、「《NO》という届けを出していない人は、臓器提供に同意しているとみなす」とするものです（オーストリア、フランスなども同じ）。推定同意の原則は、小さな子どもも外国人にも共通です。提供を受けるときにも、国籍や年齢による分け隔てはありません。ただ、臨終の場で、近親者が臓器提供を拒否すれば、医師は臓器摘出をすることはできません。そこで、ベルギーでは、提供者となりたいかかなりたくはないかを、平常時によく考えて、その意志をはっきりと登録しておくことが啓蒙されています。商店街の売り出しやショッピングセンターなどで、「je te donne mon coeur / ik geef je mijn hart」と書いたポスターなどを見たことがありませんか？「YESかNOかを

今のうちに決めて登録しておこう」「家族のものに決めさせる心の負担を取り除いておこう」というものです。こうした啓蒙キャンペーンは、小・中・高校でも積極的に行われているので、驚かれた方もいるでしょう。臓器提供には年齢制限はありません。実際、2011年度の最年少提供者は1歳、最高齢は89歳とのことです。

全般的な医療技術が進んで移植手術自体はそれほど難しいものでなくなってくると、「オーガン・トラフィッキング」や「移植ツーリズム」というような国際的な組織犯罪が増加しました。つまり、経済的に豊かな国の患者が、貧しい国で提供される臓器をお金で買ってしまうのです。それを防止するために、WHOやEUが中心となって、厳しいガイドラインが設けられてきました。2008年のイスタンブール宣言では、「臓器移植は国あるいは提携数カ国内での「自給自足」が原則であること、2010年のマドリッド決議では、「生体移植ではなく、脳死からの移植を推進すること」、そして、「各国は、脳死による臓器提供者を自国内で確保するための法整備を急ぐこと」が促されました。こうして、貧しい国の人びとが臓器を売ることも、外国に出かけて臓器移植を受けることもいけない行為とされ、専門医が病院で脳死者から臓器を摘出し、適切な方法で保管された臓器しか移植に使わないことで、移植医療の安全も保証されるようにしたのです。



肺移植を受けた人も参加して体験談を語った啓蒙イベント

死や死生観は個人的、文化的なものなので、簡単に決められないものでしょう。でも、それが国際間の犯罪に結びつくならば、防止しなければなりません。また、医療費という面からは、たとえば、人工透析よりも脳死者からの腎臓移植を推進した方が、社会への負担はずっと軽減されます。ベルギー連邦厚生省で、移植や受精卵、遺伝子複製など、医の倫理が関与する分野を担当するルク・コレンビさん（写真左上）によれば、今、臓器提供するかどうかは「提供者の自由」から「社会的責任」という風に社会のパラダイムが転換しているそうです。配偶者や子どもが移植以外に生きるすべがないと言われたとき、提供を受けたいと願うなら、自ら率先して「意志」決定しておくべきではないかと。2011年末、リエージュで起きた無差別乱射殺人事件。被害者の一人、14歳の少年のお父さんは、「息子の死を無駄にしない」と臓器提供を申し出たそうです。一人の身体は平均7名の命を救うのだとか。ベルギーに住む皆さん、意志登録していますか？

\*注：脳死後の「臓器」提供者で、その提供した臓器が実際に移植された人の統計。生体移植や皮膚や角膜のみの移植は含まず。

臓器移植合意の意志登録は・・・

[www.beldonor.be](http://www.beldonor.be)

上記サイト内に登録用紙があります。必要事項を記入して、居住地区の区役所（commune / gemeente）市民課（service population / dienst bevolking）に届けます。

☆この記事は、プチボワ愛読者栗田路子さんからの投稿です。

写真：ベルギーSoroptimist Internationalの啓蒙キャンペーンより

お任せ下さい！  
国際引越は、

## KOYANAGI WORLDWIDE

送った荷物には笑顔で  
再会したいものですね・・・

Tel: 02 726 7032

Fax: 02 726 8791

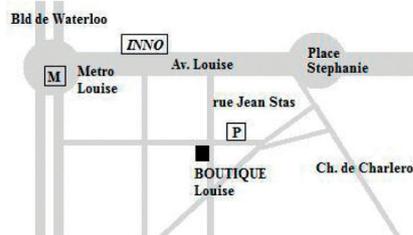
Email: [omatsu@koyanagiworldwide.com](mailto:omatsu@koyanagiworldwide.com)  
[koyanagiww@skynet.be](mailto:koyanagiww@skynet.be)



## ブティックルイズ

### 夏のセール開催中

皆様のご来店をお待ち申し上げます。



Boutique Louise

rue Jean Stas 25  
1060 Brussels

Tel : 02 640 65 44

**BOUTIQUE**

*Louise*